

令和6年度 埼玉県学力・学習状況調査

タップで実感 アップでスマイル

CBTとは、「Computer Based Testing」の略で、タブレット端末等（1人1台端末）を使用して調査を行うものです。CBTで実施することにより、紙の調査で把握できた問題の正誤の状況に加えて問題ごとの解答時間も記録・分析することが可能になるので、これまで以上にお子さんの学びの状況を細かく把握することができるようになります。タブレット端末等をタップして解答し、自分の伸びを実感するとともに学力がアップすることでスマイルになって欲しいと考えています。



1 調査の主な特長と概要

(1) 主な特長

小・中学校の段階は、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育む大切な時期です。

お子さんたちを見ると、伸びる時期やスピードは様々ですが、一人一人は確実に成長しています。

県では、お子さんたちが現在の實力を知り、「どれだけ自分が伸びたか」を実感し、自信を深めていくことを大切にしたいと考えています。そして、自分をさらに伸ばし、自分のよさを活かしていけるよう、効果的な指導方法を発掘し、学校、市町村、県が共有しながら子供たちを伸ばしていきたいと思えます。

本調査では、「学習した内容がしっかりと身に付いているのか」という今までの調査の視点に、「一人一人の学力がどれだけ伸びているのか」という視点を加えています。

このような調査を行うことで、お子さん一人一人の成長を支え、一人一人を確実に伸ばす教育を進めます！

大事なことは、
一人一人のお子さんが
「どれだけ成長できているか」
です！



(2) 概要

● 教科に関する調査

学習の積み重ねが「学力の伸び」につながります！

毎年の調査結果を見比べることによって、一年間の学習の積み重ねが「学力の伸び」として見られます。

● 児童生徒質問調査

「ルールやマナーを守る意識」も大切な力です！

お子さんたちの成長にとって大切な「社会のルールやマナーに対する意識」なども見られます。

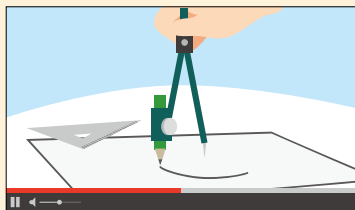
※「学力の伸び」は本調査の2年目以降に見られます。
※埼玉県学力・学習状況調査の結果は、学校の成績には一切含まれません。

2 CBTの主なメリット

映像を活用した問題など、実際の学習場面に即した出題が可能になるとともに、正誤の状況に加えて解答時間等が明らかになることで、より細かくお子さん自身のつまづいている学習内容を把握し、改善につなげることが可能になります。

作図の様子や吹き出しで再現した会話等を動画で出題

算数 問1 下の動画を見て、問題に答えましょう。



国語 問2 下の動画を見て、問題に答えましょう。



得意・不得意な領域等を把握

県平均と比べて時間をかけた問題

領域等	数と計算			
問題概要	小数と整数のたし算をする			
見直し回数	7	正誤	正	県正答率 45.2%
かけた時間	5分12秒	かけた時間 県平均	2分45秒	

領域等	データの活用			
問題概要	棒グラフから時間を求める			
見直し回数	2	正誤	誤	県正答率 35.4%
かけた時間	2分48秒	かけた時間 県平均	1分58秒	

領域等別のかけた時間

